

第6章 市民・事業者における環境配慮のための行動指針

今日の環境問題は、廃棄物の増大や資源・エネルギーの大量消費など、私たちの日常生活や事業活動と関わりの深いものが多くなってきています。

今後、環境を守っていくためには、このような環境問題の特性を理解し、私たちが自主的かつ積極的に環境の保全と創造に向けた取り組みを日常生活や事業活動の中で行っていく必要があります。

ここでは、日常生活や事業活動を営むうえで市民・事業者に期待される、環境配慮のための行動指針及び、土地利用面からの環境配慮指針を示しています。

1 市民・事業者の環境配慮のための行動指針

(1) 市民の環境配慮のための行動指針

この行動指針は、市民環境懇話会での検討により、環境を守っていくために日常生活の中で市民一人ひとりに期待される配慮事項を3つの環境像ごとに関連づけ、具体的な行動例として示したものです。

▶ 市民の環境配慮のための行動指針と具体的な行動例

環境像	項 目	行動指針と具体的な行動例
共生	生活の中で 身近に海を感じるために	＜自然とのふれあいをもちましよう。＞ ・浦戸諸島や伊保石公園の自然を楽しみましょう。 ・塩竈の海の魅力を再発見しましょう。 ・自然観察会や環境調査などへ参加、協力しましょう。 ・ごみはきちんと持ち帰るなどの自然を守るマナーを身につけましょう。
		＜塩竈が持つ地域の文化や特性を大切にしましょう。＞ ・塩竈らしい景観づくりを一人ひとりが心がけましょう。 ・伝統的なお祭りなどの行事でも、環境に対する配慮を心がけましょう。 ・地場の食材をおいしく食べるために塩竈の環境について考えてみましょう。
	自然を守り まちの緑を育てるために	＜まちの緑を守り育てましよう。＞ ・庭、ベランダ、屋上などで身近な緑を育てましよう。 ・庭先の緑は隣家や通行人などの迷惑にならないようにきちんと管理ましよう。 ・空き地などは、隣家の迷惑にならないように、きちんと管理ましよう。 ・自生する植物は持ち帰らないなど、野鳥や昆虫、植物などの生き物を大切にましよう。
		＜公園や身近な環境の緑化に対する協力をましよう。＞ ・環境関連団体などが実施する緑化活動に協力ましよう。 ・緑化募金や緑化基金に協力ましよう。 ・公園や緑をつくる活動に積極的に参加ましよう。

環境像	項目	行動指針と具体的な行動例
循環	地域循環型の都市を目指して	＜ごみの排出が少ない買い物に努める。＞・ ・ごみにならないよう不必要なものは買わないように心がけましょう。 ・買い物袋を持参して、包装を断るようにならしましょう。 ・紙コップや紙皿などの使い捨て製品は、なるべく使用しないようにならしましょう。 ・トレイやパックを使っていない、ばら売りなどの簡易包装の商品を購入しましょう。 ・長期間の使用が可能な修理体制が充実している製品を購入しましょう。 ・シャンプーや洗剤などは、詰め替え可能な製品を購入しましょう。 ・再使用又はリサイクルのルートが確立しているものを買しましょう。
		＜リサイクル製品や省エネ製品など環境にやさしい製品の購入に努める。＞ ・エコマーク[※]、グリーンマーク[※]などの表示のある製品を買しましょう。 ・ノートやトイレトペーパーなどの紙製品は、再生紙を使用した製品を買しましょう。 ・省エネになり電気代の節約にもなるので、効率の良い電化製品の利用を検討しましょう。 ・野菜などを購入する際は、旬のものや地場産のもの、有機農産物などを購入しましょう。 ・冷蔵庫などを買うときは、オゾン層保護のため、脱フロン型の製品を買しましょう。
		＜日常生活におけるごみの減量化に努める。＞・ ・不用になったものは、譲りあったり、バザーやフリーマーケットを活用しましょう。 ・生ごみは、堆肥化して利用するなど減量の工夫をしましょう。 ・生ごみは水を良く切って出しましょう。 ・衣料品や電化製品は、大切に使って、すぐにごみにならないようにならしましょう。 ・町内会やこども会などが実施する集団回収などのリサイクル活動へ参加、協力しましょう。 ・販売店が行うトレイやペットボトル、ビンなどの回収を積極的に利用しましょう。
		＜日常生活における電気の節約に努める。＞・ ・不要な照明は消しましょう。 ・電化製品のスイッチはこまめに消しましょう。 ・待機電力の消費量は大きいので、電気製品の使い方を工夫しましょう。 ・冷房は28℃、暖房は20℃を目安に設定温度を調節しましょう。 ・冷蔵庫には適量を入れ、ドアの開閉回数は少なくしましょう。 ・掃除機のフィルターなどはこまめに掃除しましょう。 ・環境家計簿[※]などを活用しながら日常生活を見直してみましょう。
		＜日常生活におけるガス・灯油などの節約に努める。＞ ・石油ストーブの反射板やガスコンロのバーナーは、こまめに掃除しましょう。 ・ガスコンロの火が外へ大きくはみださないようにならしましょう。 ・お風呂には、家族が続けて入るようにならしましょう。 ・濡れたままやかんや鍋を火にかけないようにならしましょう。

環境像	項 目	行動指針と具体的な行動例
循環環境	地域循環型の都市を目指して	＜水の有効利用や生活排水の適切な処理に努める。＞ ・歯磨きや洗顔、シャワー、洗車の際には、水を流し放しにしないようにしましょう。 ・雨水を溜めることで有効に使えるので工夫してみましょう。 ・お風呂の残り湯は、洗濯水などに利用しましょう。 ・食用油は使い切るようにし、廃油は流さないようにしましょう。 ・食器や鍋などは、油汚れを拭き取ってから洗いましょう。 ・三角コーナーや排水口に水切りネットなどを付け、調理屑を流さないようにしましょう。 ・合成洗剤の使用を控え、環境にやさしい石鹸を適量使用しましょう。
		＜自動車の使用をできるだけ控えるように努める。＞ ・ ・自家用車利用を控え、できるだけ循環バスや電車を利用しましょう。 ・同じ方向に移動するときは、できるだけ相乗りするようにしましょう。
		＜環境に配慮した運転(エコドライブ※)などの実践に努める。＞ ・ ・急発進、急加速、空ぶかし、スピード運転はやめましょう。 ・トランクを整理し、 unnecessary 荷物は載せないようにしましょう。 ・アイドリングストップを心がけましょう。 ・タイヤの空気圧は燃費に影響するので、適正な空気圧としましょう。
	快適で安全な生活環境を確保するために	＜家庭ごみの適正な処理に努める。＞ ・ ・ごみは決められた回収日に決められた方法で出しましょう。 ・空き缶やビン類、ペットボトル、古新聞、段ボール、牛乳パック、古布などは、資源回収に出しましょう。 ・テレビ、冷蔵庫、ルームエアコン、洗濯機の処分は、自己負担で適正に行いましょう。 ・ダイオキシン類[※]の発生を抑えるため、庭先などでのごみの焼却はやめまし
		＜マナーを守って生活公害の発生防止に努める。＞ ・動物などを飼うときは、糞尿などをきちんと処理しましょう。 ・近所迷惑となる騒音や振動を出さないように気配りしましょう。 ・たばこや空き缶、空きビン、ペットボトルなどのポイ捨てはやめましょう。 ・釣り糸の放置は野生生物を傷つけるなどの原因になるため、きちんと後始末をしましょう。
		＜新しい環境問題への対処に努める。＞ ・ ・環境や健康に配慮し、除草剤や殺虫剤は適量を正しく使いましょう。 ・化学物質など、新しい環境問題に関する正しい知識や情報を得て生活を見直しましょう。 ・健康の安全に配慮し、有害な化学物質の使用を避けましょう。

環境像	項目	行動指針と具体的な行動例
参加	環境について知る・学ぶために	＜環境保全活動等への参加・協力・実践に努める＞ ・環境問題について調べたり、家族や周りの人と話し合いましょう。 ・市や環境関連団体などが主催する環境保全活動や学習会へ参加しましょう。 ・周囲と協力しあって、環境保全活動や学習会を企画して、開催しましょう。 ・環境家計簿などを活用しながら日常生活を見直してみましょう。【再掲】 ・地球環境問題や、日常生活が環境に与える影響についての情報を共有しましょう。 ・化学物質など、新しい環境問題に関する正しい知識や情報を得て生活を見直しましょう。【再掲】

行動指針の実施にあたって(市民環境懇話会からの提言)

みなさんの生活がお互いに良い見本となるように・・・

＜あたりまえのことをあたりまえにやる＞

あたりまえのことをあたりまえにやれば、日常生活が環境に与える負荷はかなり小さくなるはずです。

しかし、「環境のあたりまえ」は、簡単そうでなかなかできないこともありますし、その内容も時代とともに変化していきます。

ですから、日頃から環境について考え、何が正しいのか判断し、積極的な行動を心がけることがなによりも大切なことだと思います。

※緑化基金／都市の緑化を図るための基金。市民からの寄付金を積み立て、その利息を用いて個人の住宅の生け垣の助成等を行う。

※エコマーク／(財)日本環境協会が実施する環境保全型商品推進事業のシンボルとして、アルファベットのe(エコロジー、アースの頭文字)を図案化したもの。特定フロンを使わないスプレーや再生紙を利用した冊子など、環境の保全に役立つものとして認定を受けた商品に表示される。

※グリーンマーク／(財)古紙再生促進センターが、古紙を再生利用した製品であることを認定し、表示するマークのこと。緑化推進と自然保護を目的として実施されているもので、学校や町内会・自治会などでマークを集め事務局へ送ると、苗木やリサイクルノートなどと交換できるしくみ。1981(昭和56)年制定。

※環境家計簿／日々の生活において環境に影響を与える行動を記録し、集計、採点するチェックリストのこと。家庭で、電力・ガス、石油などの消費量をCO2に換算するなどして記録する家計簿。

※エコドライブ／ガソリンの消費を抑えるなど、環境に配慮して自動車を運転すること。急発進や急加速、空ぶかしを避けるなど燃料の無駄の少ない運転を心がけることや、燃費のよい自動車の選択、相乗りの習慣など、省エネルギーと排気ガス減少に役立つ運転のこと。

※アイドリングストップ／停車中や長い信号待ちの際に自動車のエンジンを切り、無駄な空転をしないこと。

※ダイオキシン類／ポリ塩化ジベンゾパラダイオキシンとポリ塩化ジベンゾフランの総称。塩素を含むプラスチック類の燃焼などに伴って発生するため、ごみ焼却施設などからの発生が問題となっている。